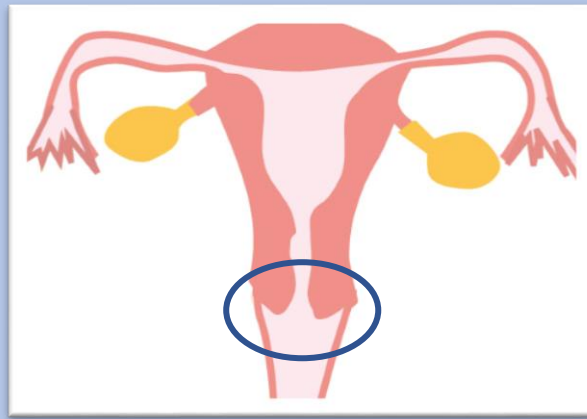


子宮頸がんについて

部 位



発生部位：子宮入り口の子宮頸部

発症年齢

20代後半から増え始め 30代後半から 40代が多い。
若い年齢（20～30代）で増えている。

診断される数と

年間約 10,000人が子宮頸がんを発症し

死亡数

毎年約 2,900人が亡くなっている。

主な発生原因

ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染

HPVに感染しても多くの場合は自然治癒するが 1割程度は自然治癒せず、がんになる前の状態（異形成）を数年経て子宮頸がんに至る。

自覚症状

異形成の時期はほとんど症状がない

子宮頸がんの予防法

一次予防 HPV ワクチン

二次予防 子宮頸がん検診（市のがん検診（2年に1回）
または人間ドック等健診で検査可能）

